

9月定例会の概要

会期 9月11日から28日までの18日間

一般質問議員 18人

| 9月18日(火) | 9月19日(水) | 9月20日(木) | 9月21日(金) |
|---|---------------------------------|---|-----------------------------------|
| 立谷 誠一 岩井 弘次 中本 浩精 菅原 博之 秋月 史成 | 花田 健吉 谷 洋一 鈴木 太雄 片桐 章浩 | 奥村 規子 浦口 高典 玉木 久登 岩田 弘彦 川畑 哲哉 | 前芝 雅嗣 藤本 眞利子 雑賀 光夫 中村 裕一 |

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 9/18
 - 半島振興・地方創生対策特別委員会 9/19
 - 防災・国土強靱化対策特別委員会 9/21
 - 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会 9/27
- 特別委員会の設置
 - 決算特別委員会を設置し、委員を選任 9/28

議案等の議決結果

| 項目 | 件数 | 概要 | 結果 |
|-----------------|----|---------------------------------|------|
| 予算案件 (知事提出) | 4件 | 平成30年度和歌山県一般会計補正予算等 | 可決 |
| 条例案件 (//) | 7件 | 和歌山県税条例の一部を改正する条例等 | |
| 決算案件 (//) | 2件 | 平成29年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等 | 継続審査 |
| 人事案件 (//) | 3件 | 和歌山県公安委員会の委員の任命につき同意を求めるについて等 | 同意 |
| その他案件 (//) | 9件 | 平成30年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等 | 可決 |
| 知事専決 処分報告 | 1件 | 平成30年度和歌山県一般会計補正予算 | 承認 |
| 意見書 | 6件 | 空き家対策の強化等を求める意見書 | 可決 |
| | | 半島地域における税制特例措置の延長を求める意見書 | |
| | | 水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書 | |
| | | 米軍基地負担の軽減を求める意見書 | 否決 |
| | | キャッシュレス社会の実現を求める意見書 | |
| | | 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書 | |

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約)

災害に関する質問

河川整備

問 台風や集中豪雨に対する県内河川の整備状況はどうか。

答 県では氾濫による社会的影響がより大きい主要な河川から優先的に河川整備計画の策定に取り組んでおり、特に、平成23年の紀伊半島大水害を契機に手続を加速化させ、現在、18計画の策定を終えたところで、残る河川についても着実に進めていきます。また、今年度は平成21年度と比べ約2倍の県予算を計上し、河道掘削や堤防整備などを実施しており、引き続き、様々な機会を通じて予算を確保し、河川整備を推進していきます。

住宅耐震に係る補助金の代理受領制度

問 住宅耐震化を促進するため補助金の代理受領制度の導入を推進できないか。

答 住宅の耐震化工事に係る補助金の代理受領制度は、資金準備の負担軽減というメリットがあることから、他府県では導入している市町村があります。県としては、一定の効果があると考えており、市町村に対し運用手法等に関する情報提供を行い、県民がより使いやすい制度となるよう働きかけていきます。

代理受領制度：補助金を住宅所有者ではなく、耐震工事を請負った事業者等に直接支払う制度。

工業団地の台風対策

問 台風第21号で被災した雑賀崎の工業団地に対する今後の安全確保をどう考えるか。

答 県としては、二度と同じことが発生しないよう、まず被災時の波浪解析など原因を分析し、その結果に基づいて、護岸や越波排水路壁の高上げなどの対策を行います。

森林の開発許可

問 最近の集中豪雨や台風、地震などの発生を受け、森林の開発許可の基準をどう考えるか。

答 林地開発許可制度の審査では、公共事業等の技術

台風第21号に伴う停電

問 長期の停電を回避するため、山林地域における電線の地中化や電線ルートの複数化に対して関西電力ではどう考えているのか。

答 関西電力に確認したところ、電線の地中化には電線の破断箇所などの把握に時間がかかることや土砂災害の場合に復旧が長期化するなど、

緊急医療体制の充実

問 ドクターヘリの夜間飛行は困難だが、運航時間を延長できないか。

答 山間へき地を多く抱える本県の地理的状況から、機動力と優れた救命効果を持つドクターヘリの運航の充実

を図っています。運航時間を延長するために、県立医科大学附属病院の屋上ヘリポートに照明設備を設置し、安全性を確保しながら、日没直後の薄暮時間帯の着陸ができるようにしたいと思っています。

